

也。双方ともお茶を退散。退陣せんことを構う。船倉勢い柴田稻
谷と火水からて戦ひ。浅井長政軍使とりて舟退散す。
ア。と重ふ送りくる小より。擇門が退ひきとば紫田稻谷も退散せ
む。退散螺少しきを退軍せり。浅井の兩勢儀因付四將引退
ひて戦換を幾何ぞと時換ある。浅井朝倉小二百余騎鐵
田方小河と百余人常敵もこまく小准ト。然る小木下藤吉
角の今日歎む一勇士。群小秀て擇らきと。尋常かくをと心
難む。日根野足守ゆいあとさうと近くをとめし。寝ひ寝起立
當小部を藏し。主と面貌楚と視聽らを退陣してもこの事は心
哉。うちるや。向者をりづく経きをたる。日根野足守の羣小も
ゆく。船坂裏内とりふ者あるよし。實至せ難く。若く小舟御安途

タクミ。諸士と謀る。私軍中小戦没させ。ひと憾む。金丸
緒小さん。万望渠とも將佐小せん。と只顧玉とせざりまつ